

第5次和泉市障がい者計画等の策定を見据えたアンケート調査の実施にむけて

1. 第4次和泉市障がい者計画の基本理念と重点項目について

基本理念

障がいのある人もみんなきいき共に暮らせるまち・和泉

最重点施策

- (1) 地域での生活基盤づくり
- (2) あいサポート運動の推進
- (3) 和泉市手話言語の理解及び普及並びに豊かなコミュニケーションの促進に関する条例の推進

2. 第4次計画を踏まえ、第5次計画で重点的に取り組むことを想定している分野

(1) 共生社会の実現に向けた取り組み

- ・令和6年度の改正障害者差別解消法の施行により、「合理的配慮の提供義務」が民間事業者まで拡大されるなど、障がいのある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会（共生社会）の実現に向けた制度改正が進んでいます。
- ・和泉市はこれまであいサポート運動、手話言語・コミュニケーション促進条例など、障がい理解の促進に取り組んできましたが、第5次計画では、共生社会の実現に向け、障がい者差別解消支援地域協議会を軸に、総合的に取り組みを推進します。
- ・障がいの有無にかかわらず自分らしく活躍し、暮らすことのできる共生社会の実現に向け、さまざまな人と人、人と場所がつながり支え合う取り組みが生まれやすいような環境整備を目指します。

(2) 自分らしい暮らしの選択を支える地域づくり

- ・障がいのある人の自立や社会参加の促進にむけて、就労支援は重要です。
- ・社会とのつながりを持つ手段は、就労に限らず、地域移行の促進、文化・スポーツ活動、地域活動やボランティアなど多岐にわたります。
- ・市民や行政をはじめ、多様な主体が協力し、障がいのある人が希望する暮らしの実現を支える地域の基盤づくりを目指します。

(3) ライフステージに応じた切れ目のない地域生活の支援

- ・乳幼児健診等を通じた早期支援、教育・保育機関との連携、卒業後の進路選択や就労支援、親亡き後を見据えた支援など、ライフステージの各段階を切れ目なく支える多機関連携の強化が必要です。
- ・特に専門性の高い支援が必要な強度行動障がい児者・医療的ケア児者の支援体制の整備が求められています。
- ・引き続き和泉市障がい者地域自立支援協議会の部会やプロジェクトチームを通じて、取組みを推進します。

3. 第5次計画重点分野（想定）と設問設計の関係

今回のアンケート調査は、2.に記載の分野に関する課題やニーズを把握することに重点を置いて設問設計を行っています。

重点分野（想定）	特に関連する調査項目分野
(1) 共生社会の実現に向けた取り組み	<p>【権利擁護・人権について】 障がい者差別についての現状把握 【情報入手・相談】 情報入手における困りごとの把握 【地域とのつながり】 主体的に地域活動に参加するために必要なことの把握</p>
(2) 自分らしい暮らしの選択を支える地域づくり	<p>【外出や日中の活動について】 余暇活動の充実状況や困りごとの把握 【仕事について】 就労への意向や困りごと、就労継続のために必要なことの把握 【住まいや暮らしについて】 今後の住まいの意向・希望する暮らしの実現のために必要なことの把握</p>
(3) ライフステージに応じた切れ目のない地域生活の支援	<p>【回答者の属性】 強度行動障がい・医療的ケアの状況把握 【住まいや暮らし】 将来のことでの不安に感じていることの把握 【保育・教育について】 保育園・学校生活や進学の状況把握 【障がい福祉サービスの利用について】 希望があるが利用できていないサービスの把握・ 福祉サービス利用促進のための必要な支援の把握 【主な介助者や世帯の状況について】 保護者の就労状況の把握、きょうだい児を含む家族が抱える生活上の悩みの把握</p>